

# 令和6年度 定期作況報告

(9月20日)

地方独立行政法人  
北海道立総合研究機構  
中央農業試験場

# 水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

## I 気象概況

8月下旬の平均気温は平年より2.4℃高く、降水量は平年の259%、降水日数は平年より3.8日多く、日照時間は平年の80%であり、高温・多雨・寡照に経過した。

9月上旬の平均気温は平年より1.3℃高く、降水量は平年の34%、降水日数は平年より1.8日少なく、日照時間は平年の147%であり、高温、少雨、多照に経過した。

9月中旬の平均気温は平年より0.5℃高く、降水量は平年の77%、降水日数は平年より0.5日多く、日照時間は平年の100%であり、少雨に経過した。

8月下旬から9月中旬までの平均気温は平年より1.4℃高く、降水量は平年の138%、降水日数は2.5日多く、日照時間は平年の110%であった。

### 気象表

(アメダス岩見沢)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月	下旬	23.5	21.1	2.4	27.6	26.0	1.6	19.8	17.1	2.7	142.0	54.9	87.1	8.0	4.2	3.8	46.4	58.0	△ 11.6
9月	上旬	21.7	20.4	1.3	27.7	25.6	2.1	16.1	16.1	0.0	10.0	29.3	△ 19.3	1.0	2.8	△ 1.8	89.7	61.0	28.7
	中旬	17.9	17.4	0.5	23.5	22.5	1.0	12.9	13.1	△ 0.2	46.0	59.8	△ 13.8	5.0	4.5	0.5	52.1	52.3	△ 0.2
平均(合計)		21.0	19.6	1.4	26.3	24.7	1.6	16.3	15.4	0.9	198.0	144.0	54.0	14.0	11.5	2.5	188.2	171.3	16.9

注1) 気象データはアメダス岩見沢を使用。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

## II 作況

5月20日 平年並

事由:播種は平年より1日遅い4月18日に行った。播種から平年並に経過し、出芽期は平年より2~3日遅かった。出芽後は、5月第2半旬を除いて高温で経過した。移植は平年より1日遅い5月20日に行った。

移植時の苗形質は、草丈が14.0-15.0cmで平年より長く、主稈葉数は3.3-3.8枚で平年よりやや多く、第1葉鞘高は2.7-2.8cmで平年並、100本あたりの地上部乾物重は2.22-2.62gで平年並からやや重かった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.16-0.17で平年よりやや下回った。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 平年並

事由:移植直後の5月第5半旬から6月第1半旬まで低温・寡照で経過したことから、生育は停滞し、葉の黄化や下位葉の葉先枯れが生じたが、6月第2半旬以降の高温多照により、生育は回復傾向となった。

6月20日における茎数は328-352本/m<sup>2</sup>で平年並から少なかったが、草丈は28.7-30.1cm、主稈葉数は7.1-7.9枚で平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

7月20日 やや良

事由:6月下旬から7月上旬まで高温で経過し、7月上旬を除き、多照で経過したことから生育遅延は回復した。幼穂形成期は平年並から1日遅く、止葉期は平年並から1日早かった。草丈は73.3-73.4cmで平年並であったが、止葉葉数は平年より0.8-1.0枚多く、茎数は平年より128-145本/m<sup>2</sup>多かった。

以上により、現在の作況は、やや良である。

8月20日 平年並

事由:7月下旬から8月中旬にかけて高温に経過した。出穂期は平年より2~5日早く、穂揃日数は平年より0.4~1.4日短かった。稈長は69.5-74.1cmで平年より長く、穂数は553-688本/m<sup>2</sup>と平年よりやや少なく、穂長は15.8-15.9cmで平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

9月20日 やや良

事由:9月上旬まで継続して高温に経過し、成熟期は平年より4日早かった。登熟日数は「ななつぼし」で平年より2日短く、「ゆめぴりか」では1日長かった。穂数は平年よりやや少なかったが、一穂粒数は平年より多く、m<sup>2</sup>あたり粒数は31.6-33.2千粒で平年より3~13%多かった。稔実歩合は94.8-95.1%、登熟歩合は86.5-89.6%と平年並で、登熟粒数は28.3-28.7千粒/m<sup>2</sup>と平年を3~11%上回った。

以上により、現在の作況は、やや良である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめぴりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
播種期 (月.日)	4.18	4.17	1	4.18	4.17	1	
出芽期 (月.日)	4.26	4.23	3	4.25	4.23	2	
移植期 (月.日)	5.20	5.19	1	5.20	5.19	1	
幼穂形成期 (月.日)	6.30	6.29	1	6.30	6.30	0	
止葉期 (月.日)	7.16	7.16	0	7.16	7.17	△ 1	
出穂期 (月.日)	7.23	7.25	△ 2	7.21	7.26	△ 5	
成熟期 (月.日)	9.05	9.09	△ 4	9.06	9.10	△ 4	
穂揃日数 (日)	5.0	6.4	△ 1.4	6.0	6.4	△ 0.4	
登熟日数 (日)	44	46	△ 2	47	46	1	
生育日数 (日)	140	145	△ 5	141	146	△ 5	
草丈(cm)	移植時	14.0	10.3	3.7	15.0	10.4	4.6
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
主稈葉数(枚)	移植時	3.3	3.1	0.2	3.8	3.3	0.5
第1葉鞘高(cm)	移植時	2.8	2.8	0.0	2.7	2.5	0.2
地上部乾物重(g/100本)	移植時	2.22	2.20	0.02	2.62	2.25	0.37
地上部乾物重/草丈	移植時	0.16	0.21	△ 0.05	0.17	0.22	△ 0.05
草丈 (cm)	6月20日	28.7	28.5	0.2	30.1	28.5	1.6
	7月20日	73.3	71.0	2.3	73.4	70.5	2.9
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	6月20日	328	329	△ 1	352	392	△ 40
	7月20日	793	648	145	899	771	128
主稈葉数 (枚)	6月20日	7.1	7.1	0.0	7.9	7.4	0.5
	7月20日	10.9	10.1	0.8	11.2	10.5	0.7
	止葉	11.1	10.1	1.0	11.3	10.5	0.8
稈長 (cm)		74.1	65.7	8.4	69.5	64.2	5.3
穂長 (cm)		15.8	16.1	△ 0.3	15.9	16.8	△ 0.9
穂数 (本/m <sup>2</sup> )		553	613	△ 60	688	721	△ 33
一穂粒数 (粒/本)		57.1	50.1	7.0	48.3	40.8	7.5
粒数 (千粒/m <sup>2</sup> )		31.6	30.7	0.9	33.2	29.4	3.8
稈実歩合 (%)		95.1	93.5	1.6	94.8	93.4	1.4
稈実粒数 (千粒/m <sup>2</sup> )		30.1	28.7	1.4	31.5	27.5	4.0
登熟歩合 (%)		89.6	89.2	0.4	86.5	87.7	△ 1.2
登熟粒数 (千粒/m <sup>2</sup> )		28.3	27.4	0.9	28.7	25.8	2.9
粒摺歩合 (%)			78.5			75.2	
屑米歩合 (%)			4.4			7.7	
精玄米千粒重 (g)			22.9			23.4	
わら重 (kg/a)			61.7			62.1	
精粒重 (kg/a)			74.0			72.2	
精玄米重 (kg/a)			58.1			54.3	
屑米重 (kg/a)			2.7			4.5	
収量平年比 (%)			100			100	
検査等級			2上			2上	

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和4年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土  
 施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=8.0-9.7-6.9 kg/10a  
 播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱  
 栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m<sup>2</sup> 4本植え  
 移植方法 : 手植え  
 反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

# 畑作の部

作物G(長沼町)

## I 気象概況

令和6年8月下旬～9月中旬までの概況は次のとおりである。

### 8月

下旬：期間中の10日が夏日であり、最高気温、最低気温ともに平年より2℃以上高く、平均気温は平年より2.7℃高かった。降水量は平年の218%と多く、日照時間は平年の83%であった。平年より高温・多雨・寡照であった。

### 9月

上旬：期間中の10日が夏日であり、最高気温が平年より2.7℃高かったが、最低気温は平年並であり、平均気温は平年より1.6℃高かった。降水量は平年の19%と少なく、日照時間は平年の143%であった。平年より高温・少雨・多照であった。

中旬：期間中の3日が夏日であり、最高気温は平年より1.9℃高かったが、最低気温は平年並であり、平均気温は平年並であった。降水量は平年の75%、日照時間は105%であった。平年より少雨であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より1.6℃高く、降水量は平年の110%、日照時間は平年の111%であった。

## 気象表

道総研中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月	下旬	23.5	20.8	2.7	27.7	25.3	2.4	20.0	17.1	2.9	102.0	46.8	55.2	7.0	4.6	2.4	45.5	54.9	△ 9.4
9月	上旬	21.8	20.2	1.6	27.7	25.0	2.7	15.9	15.9	0.0	7.0	36.5	△ 29.5	2.0	3.6	△ 1.6	84.4	59.0	25.4
	中旬	18.0	17.4	0.6	24.1	22.2	1.9	12.6	13.0	△ 0.4	38.5	51.3	△ 12.8	3.0	4.2	△ 1.2	52.0	49.4	2.6
平均(合計)		21.1	19.5	1.6	26.5	24.2	2.3	16.2	15.3	0.9	147.5	134.6	12.9	12.0	12.4	△ 0.4	181.9	163.3	18.6

注1) 気象データはアメダス長沼。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント。

注5) △は減を示す。

## II 作況

1. 秋まき小麦 記載事項なし

2. 春まき小麦 記載事項なし

### 3. 大豆

6月20日 平年並

事由:播種期は平年並の5月20日であった。播種後降雨により地表面がクラスト化したため、出芽期は平年より2日遅い6月3日であった。主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由:出芽期は平年より2日遅かったが、6月に入り高温に経過したことから、開花期は平年より1日早い7月12日であった。主茎長は平年よりやや長い、主茎節数および分枝数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 やや良

事由:主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年よりやや少ないが、分枝数が平年より多く、着莢数は平年比107%と上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日 良

事由:前節同様に、主茎長は平年よりやや短く、主茎節数および分枝数は平年並、莢数は平年比111%と上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.20	5.20	0
出芽期	(月.日)	6.3	6.1	2
開花期	(月.日)	7.12	7.13	△ 1
成熟期	(月.日)		9.28	
主茎長 (cm)	6月20日	9.5	10.9	△ 1.4
	7月20日	49.2	46.3	2.9
	8月20日	52.4	53.8	△ 1.4
	9月20日	52.0	53.6	△ 1.6
	成熟期		53.2	
主茎節数 (節)	6月20日	3.1	3.2	△ 0.1
	7月20日	9.6	9.4	0.2
	8月20日	8.9	9.7	△ 0.8
	9月20日	9.4	9.6	△ 0.2
	成熟期		9.4	
分枝数 (本/株)	7月20日	5.9	5.8	0.1
	8月20日	7.4	6.3	1.1
	9月20日	6.4	6.2	0.2
	成熟期		6.2	
着莢数 (莢/株)	8月20日	83.1	77.4	5.7
	9月20日	76.7	69.3	7.4
	成熟期		71.4	
一莢内粒数			1.87	
子実重 (kg/10a)			418	
百粒重 (g)			38.1	
屑粒率 (%)			2.0	
品質 (等級)			2中	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和3年(最豊)を除く5カ年平均。

#### 4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年より1日早い5月22日であった。出芽期は平年より2日早い6月10日であった。主茎長は平年並で、主茎節数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや良

事由：開花期は7月18日で平年より7日早かった。主茎長は平年より長く、主茎節数は平年より多く、分枝数は平年並であった。期間を通して高温に経過したことにより、生育は早まっている。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日作況：やや良

事由：主茎長は平年より長く、主茎節数および着莢数は平年より多く、分枝数は平年並であった。期間を通して高温で、7月下旬から8月上旬にかけては寡照であったことから、やや徒長傾向にある。開花始の前後にあたる7月中～下旬の高温により、一部で落花が発生したがその後は順調に着莢している。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日作況：平年並

事由：成熟期は9月6日で平年より10日早かった。主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多く、分枝数は少なかった。着莢数および一莢内粒数は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

品種名 項目 \ 年次		エリモ167		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.22	5.23	△ 1
出芽期	(月.日)	6.10	6.12	△ 2
開花期	(月.日)	7.18	7.25	△ 7
成熟期	(月.日)	9.06	9.16	△ 10
主茎長 (cm)	6月20日	4.6	4.6	△ 0.0
	7月20日	22.3	19.3	3.0
	8月20日	70.9	49.1	21.8
	成熟期	71.7	55.9	15.8
主茎節数 (節)	6月20日	2.2	1.6	0.6
	7月20日	10.0	7.5	2.5
	8月20日	16.9	13.9	3.0
	成熟期	15.5	14.1	1.4
分枝数 (本/株)	7月20日	3.3	3.3	0.0
	8月20日	4.0	3.8	0.2
	成熟期	3.0	4.8	△ 1.8
着莢数 (莢/株)	8月20日	68.5	38.8	29.7
	成熟期	46.6	49.1	△ 2.5
一莢内粒数		6.06	5.90	0.16
子実重	(kg/10a)		335	
百粒重	(g)		14.7	
屑粒率	(%)		5.0	
品質	(等級)		3中	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 本年より、平年値含めて「エリモ167」に変更した。

注2) 平年値は前7カ年中、平成29年（最豊）、令和5年（最凶）を除く5カ年平均。

## 5. ばれいしょ

5月20日作況：平年並

事由：本年の根雪終（融雪剤無散布）は平年並の3月30日で、植付期は平年より6日遅い4月30日であった。植付期以降の平均気温は平年並から高く推移し、萌芽期は平年より2日早い5月19日であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況：平年並

事由：平均気温は概ね平年並で、降水量は平年を下回ったが適度な降雨もあり、開花始は平年より1日早い6月16日であった。6月20日現在の茎長および茎数はそれぞれ平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：平年並

事由：6月下旬以降、高温少雨で経過した。7月第3半旬から茎葉の黄化が始まり、一部の個体で倒伏の発生が認められている。7月20日現在の茎長および茎数は概ね平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況：平年並

事由：期間を通じて高温寡照で経過し、7月下旬は多雨、8月上旬～中旬は干ばつ傾向となった。7月下旬に大半の個体が倒伏したことから、茎葉の枯凋はやや緩慢となり、8月第2半旬以降、一部の茎葉で二次生長が生じている。8月20日現在、枯凋期には達していない。株当たりの上いも数は平年を上回ったが、上いも平均一個重は平年を下回り、上いも重は平年比101%を示した。でん粉価は平年をやや下回った。

以上により、現在の作況は平年並である。

9月20日作況：やや不良

事由：枯凋期は平年より11日遅い8月30日であった。枯凋期における株当たりの上いも数は平年を上回ったが、上いも平均一個重は平年を下回った。上いも重は平年比98%と平年並であるが、中以上いも重は平年比87%であった。でん粉価は平年を下回った。塊茎の一部において、こぶ型や萌芽型の二次生長が認められた。

以上により、現在の作況はやや不良である。

項目 \ 年次		品種名 男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.30	4.24	6
萌芽期	(月.日)	5.19	5.21	△ 2
開花始	(月.日)	6.16	6.17	△ 1
枯凋期	(月.日)	8.30	8.19	11
茎長	6月20日	34	34	0
(cm)	7月20日	40	42	△ 2
茎数	6月20日	4.9	4.9	0.0
(本/株)	7月20日	5.1	5.0	0.1
8月20日における				
上いも数	(個/株)	14.6	12.7	1.9
上いも平均一個重(g)		73	83	△ 10
上いも重	(kg/10a)	4728	4659	69
でん粉価	(%)	14.7	15.4	△ 0.7
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	15.3	12.9	2.4
上いも平均一個重(g)		70	86	△ 16
上いも重	(kg/10a)	4744	4823	△ 79
中以上いも重	(kg/10a)	3454	3989	△ 535
でん粉価	(%)	14.0	15.3	△ 1.3
上いも重平年対比	(%)	98	100	△ 2
中以上いも重	" (%)	87	100	△ 13
でん粉価	" (%)	92	100	△ 8

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和5年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、枯凋期は二次生長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。